

## 中田裕子 先生

### 先生のプロフィール

【出身地】 三重県

【専攻】 英米法

【近年(2~3年)の担当科目】

英米法、外書講読、演習



### 【今の専門科目に興味をもったきっかけを教えてください。】

もともと、担保権、抵当権にとっても興味がありました。でも、それは日本法での話だったのですが、大学で勉強を進める中で、海外の法律はどうなっているんだろう？と単純に疑問に思ったのが始まりです。語学が好きだったので、まずは英語の論文や判例を読み始めました。法律用語の難しさや理解しづらさにびっくり！悔しくて、英米法をはじめ外国法の講義も軒並み受講したのに、まだよくわからない。じゃあ、もう少し本格的に、体系的に、学びたいと、東大の英米法専攻を受験することを決め（大学4年生！遅い！）、飛び込んでみたら…。気づいたらどっぷり漬かり切っておりました。

### 【ゼミを実施するにあたって心掛けていることは何ですか。】

ゼミの初めに「失敗することは恥ずかしくない」という話は必ずするようにしています。小さな失敗を重ねると、大きな失敗をしにくくなります。普段のゼミでは沢山発言して、沢山失敗して、次から気を付けよう、どこを直そうと考えながら、帰ってほしいといつも考えています。でも、そのためには、失敗することが怖くないゼミの雰囲気が大事なので、そういった雰囲気づくりを心掛けております（が、何せ私が失敗続きなので（先日は備え付けマイクが壊れて慌てました）学生さんが助けてくれることも多いです。）。

### 【学生時代に熱中していたこと、力を入れていたことは何ですか。】

神社やお寺めぐりを友人たちとよくやっておりましたが、力を入れていた…というほどではないです。ゼミ活動、図書館での勉強…は頑張っていたように思いますし、それなりに熱中していた気がします。でも、締切やイベント（定期テスト、ゼミ発表も含む）後に、友達と飲みに行ったり、カフェでおしゃべりしたり、サプライズ誕生日会企画したり…といった他愛のない事にも力を入れていたので、何か一つに熱中というよりは、何に対してもほどほどだったのかもしれない。

### 【学生の皆さんに一言お願いします。】

“When life gives you lemons, make lemonade” 直訳すると「人生があなたにレモンを与えるのなら、レモネード作ろう！」つまり、あなたの人生に何かつらい事や困難が降りかかってきても、それを良いものに変えよう！というポジティブな言葉です。私は、いつもそう考えて過ごしています。